

1. 学則等

(4) 実習時の心得

- 1 着替えは、各自のロッカーを整理して使用します。鍵は各自保管です。
- 2 帽子・白衣・ズボン・前掛・安全靴を着用します。
- 3 腕時計は不要です。実習室に入る前に外します。
- 4 爪は常に短く清潔にし、マニキュアも塗りません。化粧もしません。
(調理の際、食品への有害物質の影響を避けるためです)
ピアス等の装飾品を身につけていた場合は、実習室から退出を命じます。
- 5 白衣は、常に清潔なものを着用します。洗濯は、自分できちんと行って下さい。
- 6 ズボンは、自分の寸法に合わせて、長いものは切り、裾を折らずに着用します。
- 7 頭髪は、ネット帽を使用した上で次の通りです。
(1) 男子 裾は刈り上げて、耳にかからないようにします。
(2) 女子 前頭部の髪が出ないようにし、長髪は後ろで縛り、帽子の中に入れます。
- 8 安全靴も、常に清潔にしておきましょう。インターンシップで使用する場合があります。
- 9 授業での挨拶は、元気よくハッキリとしましょう。
開始時は 「お願いします」 終了時は 「ありがとうございました」
- 10 実習は、基本的に班を編成して行います。調理器具などは、元の位置に戻し、次の実習でも使いやすいよう整理整頓を行います。
- 11 火気や刃物を扱います。自分が怪我をしないことはもちろんですが、周囲にも十分に気を配り、火傷や怪我のない実習を心掛けましょう。
- 12 実習中に、止むを得ず実習室を出る場合は、担当の先生に許可を得てからにします。